



府六だより

府中市立府中第六小学校

5月号

令和6年4月30日

(児童数 719名)

校長 小林 邦子

かかわりを深め、達成感を味わう

校長 小林 邦子

新緑がまぶしい季節になりました。どの学級・学年も学校生活を送る上で必要なルールや役割を相談・確認しながら、学習を進めています。教室や廊下に飾られた子供たちの絵や書写、共同作品には、子供たちの「今」と一人一人の感性が表れていて、とても素敵です。

保護者会では、本校のよさについて、あいさつがよくできること、素直で前向きに物事に取り組んでいること、異学年のかかわりの中で思いやりの心が育っていることをお伝えしました。

「廊下はみかん」(みぎかわを、かけずに、口はみかん)の合言葉も、本校の特色の一つです。「みかん週間」で安全な歩行を意識し、急いでいるときにも、友達と気を付けている様子が見られます。まだまだ伸びしろがありますが、「あいさつ・あんぜん・あとしまつ」を合言葉に、いつでも、人が見ていないところでも、自ら考え判断し、望ましい行動をとれるようにすること、話す人に目と耳と心に向け、終わりまで聞くことを大切にしています。700人以上が生活する場所ですから、一人一人が気を付けないと、気持ちのよい落ち着いた生活環境は作れません。上学年の子供たちには、これからも、下学年の子供たちの憧れになる姿を見せてくれることを、大いに期待しています。

4月が「出会いの月」とすれば、5月は、府中第五中学校の校庭をお借りして行うスポーツフェスタが大きな全校行事です。学年に応じた表現運動の練習が、すでに始まっています。練習日程や場所に限りがある条件の中ではありますが、めあてをもって練習に取り組み、励まし合い協力し合って、運動する楽しさや自分たちの成長を実感してほしいと思います。

そして、府中第五中学校の生徒ボランティアや教職員の方々、おやじの会、PTAの皆さんに様々な場面でご協力いただきますこと、大変心強く、ありがたく思っております。伊藤 淳校長先生にも、中学生の皆さんが本校の子供たちの練習を楽しみにしているとの、ありがたいお言葉をいただきました。卒業生が進学し、小中連携教育に共に取り組んでいる府中第五中学校で行うスポーツフェスタは、子供たちの心に深く残ることでしょう。

5月は、「かかわりを深め、達成感を味わう月」とし、一つ一つの学習や行事において、子供たち自身がどのように感じ、何を学んだかを振り返り、その積み重ねを大切にしていきたいと思います。保護者、地域の皆様も「チーム府中第六小」として子供たちを支えていただきますよう、よろしくお願いいたします。

〔六小農園スタート〕4月20日(土)に、畑の作業について教えてくださる松本良幸さんのご指導のもと、おやじの会や児童の皆さん、用務主事の小川さん、農園担当の教員たちで六小農園を耕しました。雑草をとり、ふかふかの土に肥料をまき、畝をつくり、マルチを貼って、野菜の種と苗を植えました。5月はじめ、2年生は松本さんに教わりながら、六小農園にサツマイモの苗を植えます。畑の作物は、世話をする人の足音を聞いて育つと言います。食べるものを自分たちの手で育てる楽しさを味わってほしいと思います。

本校には、たくさんの応援団がいっぱいいます。地域の方々や専門家など、人との出会いや様々な体験を通して、子供たちにたくさんのことを学んでほしいと思います。

